

「ものづくりの心」習得



ものづくりマイスター村瀬隆雄さん(手前左)が見守る前で組み立てる学生＝関市迫間、中日本航空専門学校

中日本航空専門学校で実技指導

関市迫間の中日本航空専門学校航空整備科電子コースの学生が、厚生労働省認定の「ものづくりマイスター」から指導を受け、国家資格取得を目指している。4日、最後の実技指導があり、実技とともにものづくりに関わる心構えも学んだ。

学生7人は5日に実施される「技能検定 電子機器組み立て3級」合格を目指し、同組立てマイスター村瀬隆雄さん(71)＝岐阜市＝から計5日間、指導を受けた。

検定3級は、プリント基板に集積回路やトランジスタなどをはんだ付けして光検出器を組み立てるもので、精度が求められる。村瀬さんは学生に実技とともに、正確に製品をつくることはトラブルの原因を取り除くことだと説き、品質や生産管理意識も高まることを伝えた。(久松孝志)